

第 56 回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

2020年1月28日（火）午後4時から、京都府立大学6号館63講義室にて、森川 耿右 先生（京都大学 生命科学研究科）による講演（演題名：フランシス・クリック：DNAモデル発見の経緯と意識研究への転回）が行われ、生命分子化学科および応用生命科学専攻の学部生および大学院生、約20名が熱心に聴講した。ご講演内容は、ワトソン・クリックのDNA二重らせん構造の発見が、ノーベル賞受賞時にはモデルであったこと、その後、如何に実験的に証明されたか、さらにクリックがその後、意識研究という一見それまでの分子生物学的研究から転回した経緯などを、哲学的なとらえ方も交えながら、わかりやすくお話しいただいた。講演後、参加者からの質問にも丁寧にお答えいただき、予定を延長して、午後5時50分に終了した。

セミナー風景

